

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(機械導入事業)要望調査用紙  
(畜産クラスター協議会とりまとめ)

|             |               |     |               |
|-------------|---------------|-----|---------------|
| 畜産クラスター協議会名 | 〇〇〇畜産クラスター協議会 |     |               |
| 取組主体等名      | 農林 太郎         | 連絡先 | 090-xxxx-0000 |

<経営区分・飼養頭羽数>

酪農 (搾乳牛頭数) 40 頭       肉用牛(繁殖雌牛頭数) \_\_\_\_\_ 頭

肉用牛(肥育牛頭数) \_\_\_\_\_ 頭

肉用牛(一貫) [(繁殖雌牛頭数) \_\_\_\_\_ 頭、(肥育牛頭数) \_\_\_\_\_ 頭]

養豚 [(母豚頭数) \_\_\_\_\_ 頭 (肥育豚頭数) \_\_\_\_\_ 頭]

採卵鶏 \_\_\_\_\_ 千羽       肉用鶏 \_\_\_\_\_ 千羽

その他家畜 \_\_\_\_\_ 頭・千羽

飼料生産受託組織 (  コントラクター       TMRセンター )      令和 3 年 3 月 23 日現在

日付も記入してください

畜産クラスター協議会から連絡する場合の連絡先を記載してください

該当する経営区分にチェックし、現在の頭数を記入してください

<導入の必要性>

**※複数選択可(チェックマークを入れる)**

(畜種共通)

・飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 (生乳、子牛、肥育牛、肥育豚、鶏卵、肉用鶏 等)

・給餌作業の省力化

・分娩間隔の短縮による出荷数量の増

・受胎率の向上による出荷数量の増

・事故率の低減による出荷数量の増

・哺乳管理の省力化

・繁殖管理の省力化

・ふん尿処理の省力化

・堆肥販売額の増

・温度制御による畜舎環境改善

・省エネ

・衛生管理の高度化

・自給飼料の生産・利用の拡大

・自給飼料の生産・利用の省力化

・放牧頭数・面積の拡大

・エコフィードの利用拡大

・6次化による加工品の販売量・販売額の増

・預託頭数の増

・新規就農

・乳質改善による販売額の増

・搾乳作業の省力化

(肉用牛)

・肉質向上による販売額の増

・稲わら(飼料用)の利用拡大

(豚)

・母豚1頭当たりの出荷頭数の増

(採卵鶏)

・産卵率の向上による出荷数量の増

・死廃率の低下

・集卵作業の効率化

・検卵・選卵作業の効率化

(肉用鶏)

・育成率の向上による出荷数量の増

例えば、酪農において給餌作業の省力化を図り、空いた時間を飼養管理に向けることにより搾乳牛頭数の増頭を図り、生乳出荷数量の増に取り組む場合。

- ・飼養頭羽数の増加による出荷数量の増
- ・給餌作業の省力化

の2つを選択してください。

<取組計画>

該当する口にチェックし、機械導入前後の状況を記入して下さい(複数選択可)。

飼養頭羽数 (機械導入前 **40** 頭(羽) → 機械導入後 **50** 頭(羽))  
※上記(経営区分・飼養頭羽数)で記載した頭数を何頭にするかについて記載のこと。

出荷頭数 (機械導入前 頭 → 機械導入後 頭)

出荷数量 (機械導入前 **320** t → 機械導入後 **400** t)

販売額 (機械導入前 円 → 機械導入後 円)

労働費 (機械導入前 円 → 機械導入後 円)

飼料費 (機械導入前 円 → 機械導入後 円)

農業所得又は営業利益 (機械導入前 円 → 機械導入後 円)

【飼料生産受託組織のみ】

自給飼料収穫量又は利用量 (機械導入前 t → 機械導入後 t)

例えば、搾乳牛頭数を40頭から50頭に増頭し、生乳の出荷数量の増を図る場合。  
 ・増頭前の出荷数量：8 t / (1頭当たり年間産乳量) × 40頭 = 320 t  
 ・増頭後の出荷数量：8 t / (1頭当たり年間産乳量) × 50頭 = 400 t

<成果目標>

該当する口にチェックして下さい(1つだけ選択)。

取組計画で「出荷数量」の増を選択していることから、「販売額の5%以上の増加」を選択。

販売額の5%以上の増加 (  大規模経営8%以上 )

生産コストの5%以上の削減 (  大規模経営8%以上 )

農業所得又は営業利益の5%以上の増加 (  大規模経営8%以上 )

【飼料生産受託組織のみ】

自給飼料収穫量又は利用量の5%以上の増加

<要望機械>

導入予定の機械装置の情報を記入して下さい。

要望する機械が更新ではないことを必ず確認してください。

機械の更新は補助の対象となりませんので、更新でない場合は口にチェックして下さい。

下記機械は、更新(同等機の入れ替え)ではありません。

機械装置の区分 **飼料給与関係機械装置**

機械装置名 **ミキサーフィーダー(牽引式)**

| 機械価格(円)<br>(税抜・税込)※ | 数量(台) | 合計(円)     |
|---------------------|-------|-----------|
| ①                   | ②     | ①×②       |
| 4,000,000           | 1     | 4,000,000 |

※税抜・税込のいずれかに○印を付けてください。

(要望する機械装置が複数ある場合は複数記入してください。)

対象機械装置一覧から機械装置の区分、機械装置名を記入し、機械価格、数量を記入してください。この場合、消費税抜か税込かを○印で示してください。

算定根拠：出荷数量(生乳)

現状値：①8,000kg×②40頭×③100円=32,000,000円

目標値：①8,000kg×②50頭×③100円=40,000,000円

①～③の内訳：①：1頭当たり年間産乳量、②：搾乳牛頭数、③：単価

※畜産クラスター協議会が記入

<決定した成果目標と成果目標に係る設定根拠>

畜産クラスター協議会は、上記の要望のシステム入力に際し、選択内容に変更が生じた場合には、変更後の内容を取組主体等から確認を受け、これを保管する。

| 機械装置名              | 成果目標                  | 算定根拠 | 現状値 |   |   | 目標値            |   |   | ①～③の内訳 |
|--------------------|-----------------------|------|-----|---|---|----------------|---|---|--------|
|                    |                       |      | ①   | ② | ③ | 現状値<br>(①×②×③) | ① | ② |        |
| ミキサーフィーダー<br>(牽引式) | 販売額の5%(8%)の増加         |      |     |   |   |                |   |   |        |
|                    | 生産コストの5%(8%)の削減       |      |     |   |   |                |   |   |        |
|                    | 農業所得・営業利益の5%(8%)の増加   |      |     |   |   |                |   |   |        |
|                    | 自給飼料収穫量・利用量の5%(8%)の増加 |      |     |   |   |                |   |   |        |

(要望する機械装置により成果目標等が異なる場合には、機械装置毎に、この項目を適宜増やして活用してください。)